

2008 年度

科目名	対象学科・学年 文学部日文2 回生	担当者
文献学		井上 新子
授業テーマ 古典文学の本文		
授業の概要と目標 古典文学の本文をめぐる諸問題について考察する。はじめに、いくつかの作品の事例に触れながら、本文研究に関する用語や方法などの基礎的知識をおさえる。これをふまえ、『堤中納言物語』中の一編「虫めづる姫君」と『狭衣物語』巻一の一部（天稚御子降下場面）を、本文異同に留意しながら読解する。対照的であるとも言えるおのおのの伝本の現況を見つめてみたい。		
評価方法 出席状況（15点）、授業時の課題への取り組み（30点）、レポートの成績（55点）を勘案し、評価する。		
テキスト プリント配布。	著者	出版社
参考書 講義内で、適宜紹介。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1 「文献学」について 「文献学」とは何か。本文批判について。 2 古典作品の原典復原 『土左日記』の場合。奥書の活用と本文批判の実際。 3 古典作品と錯簡 『更級日記』の場合。装幀と錯簡。 4 和書についての基礎知識 さまざまな本のかたち。本をかたちづくるもの。 5 『堤中納言物語』（1） 『堤中納言物語』についての概説。伝本の状況。 6 『堤中納言物語』（2） 「虫めづる姫君」を読む。 7 『堤中納言物語』（3） 「虫めづる姫君」を読む。 8 『堤中納言物語』（4） 「虫めづる姫君」を読む。 9 『堤中納言物語』（5） 「虫めづる姫君」を読む。 10 『堤中納言物語』（6） 「虫めづる姫君」を読む。 11 『堤中納言物語』（7） 「虫めづる姫君」を読む。 12 『堤中納言物語』（8） 「虫めづる姫君」を読む。 13 『狭衣物語』（1） 『狭衣物語』についての概説。伝本の状況。 14 『狭衣物語』（2） 深川本・古活字本を読む。 15 『狭衣物語』（3） 伝為家筆本・伝三条西公条本を読む。まとめ。		